



ブルーナ・カンシオ BRUNA CANCIO

弁護士

+55 11 3033 3732
+55 11 94056 3282
bruna.cancio@lickslegal.com

業務分野

- ・ 独占禁止法案件
- ・ 政府契約と公共調達
- ・ 訴訟
- ・ 規制法
- ・ テクノロジー、メディアと電気通信

言語

- ・ ポルトガル語
- ・ 英語
- ・ スペイン語

Bruna Cancioは、2024年に弁護士としてLicks特許法律事務所サンパウロ事務所へ入所しました。Licks特許法律事務所に入所する以前は、公法専門の法律事務所で弁護士を務め、特にインフラストラクチャと公共調達分野の司法訴訟と行政訴訟に関わる案件に取り組んでいました。さらに、多国籍企業の規制法を専門とするチームの企業弁護士の経験もあります。また、調停合意、裁判所と規制機関での口頭弁論の実施でも経験を積み、リーンシックスシグマ・プログラムのイエローベルト認定を取得しています。

代表的な事例

- ・ 電気通信分野の大手多国籍企業とエスピリト・サント州検察庁の調停実施協定(TAC)交渉の仲介で、重要な役割を果たしました。
- ・ 法的手続のポートフォリオのリスク評価と規制の不確実性に関するワークショップが開発されたプロジェクトを主導し、イエローベルト認定につながりました。

所属

- ・ ブラジル弁護士会 — バイーア州支部(OAB/BA)
- ・ ブラジル弁護士会 — サンパウロ支部(OAB/SP)

学歴

- ・ サンパウロ教皇庁立大学(PUC-SP) 行政法専攻博士号候補者(現在)
- ・ ゲッティンゲン大学犯罪科学大学院に参加(2018年)
- ・ バイーア連邦大学(UFBA) 公法修士号(LL.M)(2018年)
- ・ サルバドール・カトリック大学犯罪科学専攻(2016年)
- ・ バイーア連邦大学(UFBA) 法学士号(LL.B)(2014年)

執筆・論文

- ブラジルの刑事訴訟の認識的コントロールのメカニズムを組み込む必要性に関するエッセイ (現代の刑事法および刑事手続き: ドイツゲッティンゲン大学犯罪科学大学院からの議論に掲載). D'Plácido. 2020.
- 女性の性の尊厳の法的および刑事的保護ならびに通訳に重要な法律上の利益 (CONPEDI第26回全国大会に掲載). 2017.
- ヘイトスピーチの犯罪化 (科学モビライゼーション週間—SEMOCに掲載). 2015.